

2014年度 東海支部 YFE 子供いもの教室 終了報告

YFE 恒例の子供いもの教室を、11月9日(日)に、名古屋市工業研究所(名市工研)で開催した。今年度は名市工研の一般公開イベントに合わせた開催となり、市広報を利用して告知を行ったところ、予定人数を超える申し込みがあった。最終的に43名のお子様とその保護者の方に参加いただいた。



当日は愛知万博のキャラクター「モリゾー・キッコロ」、豊川市のゆるキャラ「いなりん」のペーパーウェイトの型に加えて、名市工研様が3Dプリンタで自作された「なこちゃん」のプレートの型(右写真)を準備し、参加者には3種類の中から1つを造型していただいた。造型と最後のやすりがけの工程を参加者の皆さんに体験していただき、注湯、バラしといった危険が伴う作業はスタッフが行った。



保護者が温かく見守る中、子供たちは一生懸命砂を型に詰め、鑄型を完成させた。中にはついつい手伝う親御さんもおられ、親子による力作の鑄型も見られた。注湯工程では溶けた金属が鑄型に流れ込む様子に子供も大人も興味津々で、温度や材料に関する問いかけも多かった。バリ取り後に手渡された鑄物を、最後は自分で丁寧にやすりで磨きあげ、子供たちは完成した自分だけの鑄物を笑顔で見つめていた。



いものづくりに対する一般の方の関心は高く、今度はどこでやるんですか?といったリピーター候補もみられるほど好評であった。今後も、一般の方々にもものづくりの楽しさ、いものづくりの素晴らしさを体験していただける行事を開催して、鑄造への関心を高める取り組みをしていく。

最後になりましたが、今回の子供いもの教室にご参加いただいた皆様、運営にあたり多大なご協力をいただきました名古屋市工業研究所様、また、当日お手伝いをしていただきました三重大大学の学生の皆様に厚くお礼申し上げます。

(新東工業株式会社 青木知裕)